

攻殻機動隊

S.A.C. SECOND GIG 01



■第1話「再起動 REEMBODY」

「個別の11人」と名乗る武装グループによって中国大使館が占拠された。密かに出動していた公安9課の面々は無期限待機命令の解除を待つ。総理は、犠牲者を出さず15分以内にテロリストを鎮圧することを条件に、突入を許可するが――。

■第2話「飽食の僕 NIGHT ㊦ RUISE」

3大ネットワークJBNNの会長・片倉の専属パイロットを務めるギノ。欺瞞と不正に満ち溢れた世の中から、憧れの高級娼婦“ヒララ”を救出したい。義憤に燃えるギノは、彼らに正義の鉄鎧を下すべく行動を開始する！

攻殻機動隊

S.A.C. SECOND GIG 02



■第3話「土曜の夜と日曜の朝 CASH ㊦ YE」

政財界の名士である田所会長のもとに、窃盗犯から予告状が届いた。9課は茅苺首相の命により、田所主催のパーティを警備することになる。だが、窃盗犯の正体は草薙だった！㊦課の本当の狙いは何処にあるのか!!

■第4話「天敵 NATURAL ㊦ NEMY」

合同演習中にA1ヘリが暴走。誘われるように各地で無人のヘリが動き出し、集結し始めた。そして、対応を迫られる9課の前に忽然と現れた内閣情報庁の“ゴータ”。彼の真意も図れぬまま、草薙らはタチコマで出撃するが――

攻殻機動隊

S.A.C. SECOND GIG 03



■第5話「動機ある者達 INDUCTANCE」

「個別の11人」から茅苺首相に暗殺予告文が届いた。9課は警護につくが、参拝に乗じて暗殺は実行にうつされる。茅苺に迫る全身義体の男「クゼ」。はたして草薙は阻止できるのか！

■第6話「潜在熱源 EXCAVATION」

エネルギー省を脅迫していた男が、不可解な死を遂げた。トグサは彼の足跡をたどるべく、招慰難民居住区「東京」に向かう。だがそこでは、あるべきはずもないものが、地下最深部から呼び起こされようとしていた。

攻殻機動隊

S.A.C. SECOND GIG 04



■第7話「狂想は亡国の調べ 239Pu94」

新宿地下原発から燃料棒の海路移送計画が「個別の11人」に漏洩した。ゴータの指揮のもと、9課は移送任務を請け負うが、経由する陸路は不穏な空気が漂う難民居住区だった。

■第8話「素食の晩餐 FAKE ㊦ OOD」

「個別の11人」容疑者カワシマの身柄確保に奔走する9課。だが、虚構であったとしても現実へと変換されれば、それは真となる――。彼は本当に「個別の11人」なのか、それとも別の目的を持った似せ者なのか？

攻殻機動隊

S.A.C. SECOND GIG 05



■第9話「絶望という名の希望 AMBIVALENCE」

生きることに希望を見だせない人々がその身をやつす「自爆テロ」。そして、それを阻止するため奔走する9課。一方、単独で内閣情報庁に潜入した草薙は、そこでゴータの仮想人格と対峙するが――。

■第10話「イカレルオトコ TRIAL」

非番中にやむなく発砲してしまったトグサは、単なる証人から「不幸な事故」の引き金に仕立て上げられる。証言台に立つ彼の前で、理不尽な追求が9課にまでその矛先をのぼそうとした時、事態は思わぬ展開を見せた！

攻殻機動隊

S.A.C. SECOND GIG 06



■第11話「草迷宮 affection」

虚実定まらぬ街で誘われた、記憶を預かるという『牢記物店』。草薙は、そこで無き少年少女の義体とめぐり会う。物言わぬ彼らにかつて訪れた物語とは――。

■第12話「名も無き者へ SELECON」

虚ろなる真に導き寄せられる「個別の11人」。そして、組み上がった因子を解き明かしはじめる9課。だが、さらなる具現を阻むべく行動を起こしたその時、すべてを暗転させる「刃」が抜かれた!!

攻殻機動隊

S.A.C. SECOND GIG 07



■第13話「顔 MAKE ㊦ P」

クゼの顔を追って、9課は造顔作家へとそのコマを進めた。だが、カメラの映し出したパズの凶行が、捜査の動きを鈍らせる。これも「クゼ」の仕業なのか、それとも――。

■第14話「左眼に気をつける POKER ㊦ ACE」

米帝特使を迎え厳戒態勢が敷かれる中、待機中の隊員等はポーカーに興じていた。そこで、一人勝ちを続けていたサイトーは、左眼にまつわるポーカーフェイスを語りはじめのだが――

攻殻機動隊

S.A.C. SECOND GIG 08



■第15話「機械たちの午後 PAT」

「この人どこかで見たことがあるんですね…」研究所の爆破事故後の捜査中に、奇妙な既視感を感じるタチコマ。所在不明の有須田博士と、自分達の主体について疑問を持つ彼らとをつなげるものは――

■第16話「そこにいること ANOTHER ㊦ HANCE」

国連平和維持軍としての戦い、任務を終えてからの葛藤――。イシカワの持ち帰ったクゼの過去、それは9課にとっても草薙にとっても不可解なものであった。一方、国内情勢の悪化は日米安保締結に拍車をかけていた――

攻殻機動隊

S.A.C. SECOND GIG 09



■第17話「修好母子 REDATA」

クゼの足取りを追い台湾へ潜入した草薙は、そこで少年・チャイと出会う。行動を共にし始めた二人の関係は、時には友人、時には親子、そして時には恋人——わき起こる奇妙な感覚に母性を励起させ、彼女は行動を開始する！

■第18話「天使の詩 TRANSPARENT」

当局が追っている正体不明のテロリストは『天使の羽根』と呼ばれていた。大規模な包囲網が街を覆う中、ある少女の存在がパト一の脳裏をよぎる。そして、彼女の秘密に突き当たったとき、天使は再び舞い降りた…

攻殻機動隊

S.A.C. SECOND GIG 10



■第19話「相対の連鎖 CHAINREACTION」

並列化した招慰難民達の行動は、自治区宣言へと拡大した。これに対し草薙は、クゼを確保すべくハブ電腦へとダイブする。だが、潜伏場所を急襲した9課を予想し得ない事態が待ち受けていた！

■第20話「北端の混迷 FABRICATEOG」

北端、択捉——そこは、旧型の電腦都市にして混沌の坩堝。断片的な情報を元にクゼの目的を想定し9課は旧ロシアの原潜基地跡へと向かう。しかし、そこでは既に難民等とアームスーツが戦いを始めていた！

攻殻機動隊

S.A.C. SECOND GIG 11



■第21話「敗走 EMBARRASSMENT」

クゼと9課との間にある、わずかな動機の差。それは彼に包囲網を突破させ、出島へと辿りつかせる。だが人々の前に広がった光景は、第三者による意志の介入を予見させるのだった。

■第22話「無人街 REVERSALPROCESS」

「個別の11人」最期の場所である九州電波塔に、プルトニウム爆弾が仕掛けられた。解体処理のため無人と化し静寂につつまれる街中を、パト一は一人ゴータのもとへと赴く。クゼが自決をしなかったその場所で、二人はなにを語るうというのか…

攻殻機動隊

S.A.C. SECOND GIG 12



■第23話「橋が落ちる日 MARTIALAW」

戦わずとも勝負は決するはずだった招慰難民と自衛軍。しかし、水が低きに流れるように、人の心もまた易きに流れる。一発の銃声が状況を急変させ、事態は混迷の度を深めていく。

■第24話「出島、空爆 NUCLEARPOWER」

制空権をおさえられ潰走する招慰難民達。ゴータの策略がさらなる展開を見せる中、9課は出島へと突入する。一方で、クゼは人々をハブ電腦に繋ぎ止めるべく、次の手に出ようとしていた…

攻殻機動隊

S.A.C. SECOND GIG 14



■第25話「楽園の向こうへ HISIDEJUSTICE」

クゼと邂逅を果たす草薙、そして茅葺の救出に成功する荒巻——事態は収束に向かうかと思われた。だが、タチコマが掴んだ情報は、9課の動きが未だにゴータの予想の範疇を出ていないことを示していた。

■第26話（最終話）「憂国への帰還 ENDLESSGIG」

この終焉は、通過点の一つであり、又始まりでもあるのだろう。自らを賭して攻撃を阻止したタチコマ。革命の行く末を見極めることなく逝くクゼ。ゴータとの因縁を精算する9課。そして…